



学校教育目標

心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、
行動できる子どもを育成する
～宇宙一 すてきなあいさつ 日北っ子～

児童の学校生活の様子を、
随時更新し掲載しています。
どうぞ、ご覧ください。

明日(あす)も進む いのちの日 ～大人も子どもも知ってください～

校長 寺越 崇征

9月30日は、すべてのさいたま市立学校で、AEDの一斉点検をしたり、子どもたちと一緒にAEDの設置場所を確認したりして、学校安全について見直す日になっています。

平成23年9月29日、さいたま市の小学6年生だった桐田明日香さんが、駅伝課外練習中に突然倒れ、救急搬送されたのち、翌30日に亡くなるという大変悲しい事故が起きました。当時、私も同じ6年生の担任をしていたこともあり、このニュースを聞いて大変ショックを受けました。この事故は、学校安全について見直す大きな転機となり、市内のすべての教職員と児童生徒が、救命のためのAEDの適正な利用法を身に付ける必要性が広まってきました。

事故の翌年には、さいたま市が作成した「体育活動時における事故対応テキスト～ASUKAモデル～」が全教員に配付されました。それから、AEDを用いた心肺蘇生法の研修を繰り返し行ったり、3年に1度は全教員が「普通救命講習Ⅰ」を受講したりして、最新の救命技能を身に付けています。

子どもたちも、いざという時の救命方法を授業で学習しています。さいたま市では、5・6年生の体育(保健領域)でAEDの働きを知り、心臓マッサージの方法を全員が学習します。(救命入門コースⅡ・Ⅲの参加証が授与されます。)また、全ての学年で、緊急時に救命のチャンスを維持するための行動を身に付ける学習も行っています。

さいたま市の子どもたちに身に付けさせたい力
(さいたま市教育委員会「明日(あす)も進む いのちの日」指導上の留意点より)

低学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身の安全を確認できる。 大人を呼びに行くことができる。 校内に設置されているAEDの場所を知る。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の安全を確認できる。 校内に設置されているAEDを取りに行くことができる。
高学年	<ul style="list-style-type: none"> AEDの目的や機能について知る。 校外も含めてAEDの設置場所について知る。 緊急時の対応ができる。 ・心臓マッサージができる。



心肺蘇生法研修(教職員)

保健室前のAED



体育館入り口のAED

日進北小学校は、**①保健室前の廊下**にAEDを設置しています。さらにPTAのご協力で**②職員室**と北校舎2階に3か所(**③児童会室前**、**④中央階段前**、**⑤なかよしルーム前**)と、**⑥体育館入り口(外側)**にも設置いただいています。

学校にお越しになった際に、ぜひ場所を確かめてみてください。

学校は安全な場所でなければなりません。子どもたちには、日々の安全と命の大切さを学びながら、安心して生活してほしいと思います。私たち大人は、それを全力で支えていきます。悲しい事故から13年。決して風化させてはいけない、教訓を語り継いでいかなければいけないと、改めて感じた9月30日でした。